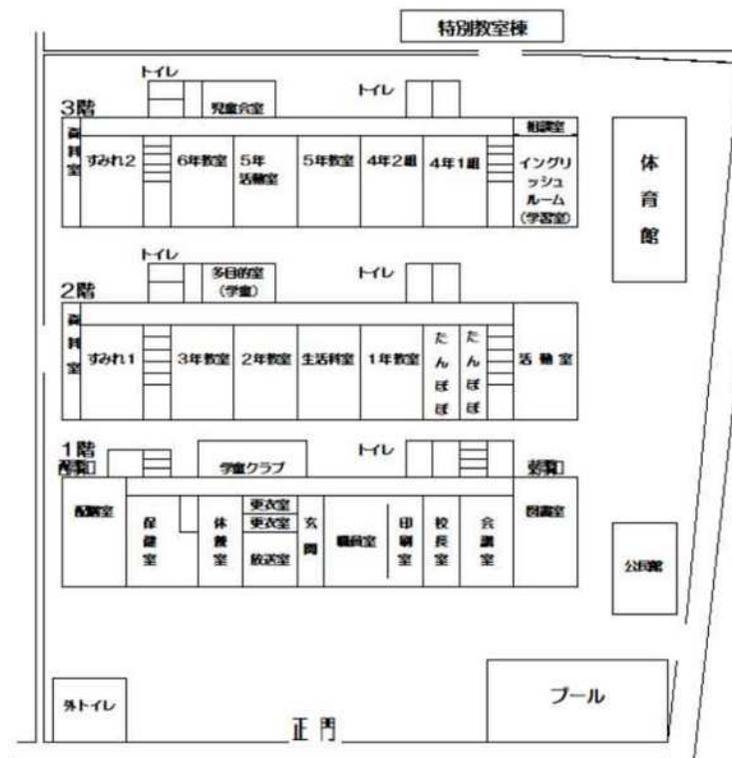


## VI 主な年間行事

学期	内 容
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式・新任式・始業式・地区児童会</li> <li>・発育測定・避難訓練(火災)・視力・聴力検査</li> <li>・希望個別懇談・1年生を迎える会・交通安全教室</li> <li>・授業参観(4,6月)・PTA総会(書面開催)</li> <li>・学年部会・児童総会・新体力テスト・人権の花運動</li> <li>・陸上記録会6年・内科・歯科等検診・歯科検診</li> <li>・学校運営協議会①・修学旅行6年・引き渡し訓練</li> <li>・親子クリーンアクション・校外学習1~4年</li> <li>・租税教室・人権教室5年・PTA運営委員会①(書面開催)</li> <li>・自然教室5年・防犯教室・水泳記録会6年・地区児童会</li> <li>・1学期終業式・夏季休業</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業・2学期始業式・夏休み作品展</li> <li>・避難訓練(地震)・発育測定・授業参観・学年部会</li> <li>・PTA理事会・PTA環境整備作業・PTA運営委員会②</li> <li>・運動会・学校創立記念日</li> <li>・就学時知能検査・芸術鑑賞教室・東山音楽発表会4年</li> <li>・後小まつり・学校運営協議会②・図書集会</li> <li>・避難訓練(火災)・個別懇談・地区児童会</li> <li>・2学期終業式・PTA理事会・冬季休業</li> </ul>
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季休業・3学期始業式・書き初め大会</li> <li>・発育測定・児童会役員選挙・なわとび大会</li> <li>・新入児保護者説明会・避難訓練(地震)</li> <li>・PTA運営委員会③(書面開催)</li> <li>・スキー教室・授業参観・学年部会・PTA専門部会</li> <li>・児童総会・学校運営協議会③・クラブ見学3年</li> <li>・地区児童会・登校班編制・6年生を送る会</li> <li>・卒業式・修了式・離任式・学年末休業</li> </ul>

## VII 校舎配置図 (東経 138 度 42 分 北緯 35 度 41 分 09 秒 海拔 354m)



## 後屋敷小学校 校歌

一 緑の山よ 麦の野よ  
はえてはるけき 大空に  
そびゆる富士を あおぎつ  
一すじに 真理を求めて  
進むわれらの 後屋敷校

二 流れも清き 重川に  
深きゆかりを たずねては  
文化の花の 咲く里に  
新生の 意気はつらつと  
もゆるわれらの 後屋敷校

三 春のめざめの 花かげに  
愛とまことを つちかいて  
正しく強く 学ぶ日の  
なつかしや まどいゆたかに  
つどわれらの 後屋敷校

令和6年度

# 学校要覧



## 山梨市立後屋敷小学校

Yamanashi City Goyashiki Elementary School

〒405-0011 山梨県山梨市三ヶ所877番地

TEL : 0553-22-0079

FAX : 0553-22-9924

MAIL : goyashiki@es-jhs.kai.ed.jp

## I 学校の沿革の概要

明治6年10月13日　後屋敷，日下部の二か村と七里村のうち下塩後を所属とし、本地域の清白寺を仮校舎にあて、「後屋敷学校」を開設した。

明治14年3月　所属のうち、日下部は独立し一校を設けたので、本校は、校舎を円通寺に移した。
明治20年4月　小学校令改正により、後屋敷，日下部両校合併して、「小原尋常小学屋敷校」と称し、4月8日開講式を行い、校舎を分け、第二教場を後に置いた。

明治22年7月　県令により、「小原尋常小学校」を分離し、「後屋敷尋常小学校」として独立した。
明治32年9月　校舎が落成し、円通寺より現在地に移った。
明治40年2月　四学級編成とする。同年3月、生徒増加により、円通寺に一教室を移転した。
明治43年10月　義務教育延長に伴い、校舎の狭隘をきたしたため、二階建て一棟を増築した。
大正8年4月　高等科を併置し、「後屋敷尋常高等学校」と改称した。
昭和13年4月　校舎ならびに講堂が完成した。
昭和16年4月　国民学校令により、「後屋敷国民学校」と改称した。
昭和22年4月　新学制実施により、「後屋敷小学校」と改称した。
昭和25年12月　校歌を制定した。
昭和28年12月　創立八十周年記念式を挙行した。
昭和29年7月　山梨市発足に伴い、「山梨市立後屋敷小学校」となった。
昭和33年6月　東校庭を拡張した。
昭和35年11月　給食室が完成した。翌年1月完全給食を開始した。
昭和37年9月　プールが竣工した。
昭和40年1月　校旗を樹立した。
昭和48年10月　創立百周年記念事業を実施した。
昭和51年5月　校舎新築及び給食室改築落成式を挙行した。同年11月「岩石園」が完成した。
昭和52年3月　校地環境整備のため、芝植え・植樹を実施した。
昭和53年1月　「学校給食優良校」として、県教育委員会より表彰された。
昭和54年1月　「花を育てる運動・学校花壇コンクール優良校」として、県表彰された。
昭和54年6月　新プールの起工式をした。8月新プールが完成した。
昭和55年2月　「山梨県学校保健体育指導優良校」として表彰された。
昭和55年5月　屋内体育館が落成した。
昭和57年8月　校庭東入口通路舗装工事が完了した。バックネットが完成した。
昭和62年8月　校庭散水施設が完成した。
昭和63年3月　校庭に遊具・的当て壁を設置した。9月体育庫を改修した。
平成2年11月　「学校給食文部大臣賞」を受賞した。
平成3年10月　「後小音頭」を作成し、秋季大運動会にて披露した。
平成4年11月　「日本PTA全国協議会会長賞」を受賞した。
平成5年5月　青少年赤十字に加盟した。8月教室床塗装工事が完了した。
平成6年6月　はん登棒工事が完了した。
平成7年8月　校庭に遊具・ブランコを設置した。給食室回転釜を改修した。
平成8年6月　校庭にジャングルジムを設置した。
平成9年8月　給食室の天井を改修した。9月グローブジャングルを設置した。
平成11年8月　校内放送機器全面を取り替えた。保健室にエアコンを設置した。
平成12年2月　校舎北側へ資料室を設置した。2階資料室を特殊学級へ改修した。
平成14年3月　新校舎(特別教室棟)が完成した。
平成14年10月　「地域ふれあい道徳教育推進校」として地域・保護者等へ道徳授業を公開した。
平成16年9月　正門・公民館側・西側に門扉を設置した。
平成18年2月　耐震補強大規模改修及び校舎・学童クラブ室増改築の竣工式をした。
平成18年10月　「山梨市学校図書館支援センター協力校」に指定された。
平成19年4月　「小学校における英語教育の在り方に関する調査研究校」に指定された。
平成22年3月　太陽光発電装置および電子黒板地デジテレビが設置された。
平成22年6月　宇宙アサガオ栽培が実施された。人権教育協力校に指定された。
平成23年11月　ベレットストーブが設置された。
平成24年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した。
平成25年8月　創立百四十周年記念航空写真の撮影をした。
平成26年11月　日本赤十字社金色有功賞を受賞した。
平成27年12月　「社会を明るくする運動」作文コンテストで特別賞を受賞した。
平成28年9月　全教室にエアコンが設置された。
平成30年7月　給食の自校方式終了。8月給食室の改修工事が完了した。
平成31年3月　校庭側溝の改修工事が完了した。各学年に大型液晶モニターが寄贈された。
平成31年度子供の読書活動優秀実践校として、文部科学大臣表彰を受賞した。
GIGAスクール構想により、一人一台端末が導入された。
令和3年4月　「山梨県口腔衛生優良学校賞(小学校の部)」を受賞した。
令和4年2月　校庭屋外トイレの改修工事が完了した。
令和5年3月　校庭南西の3連高鉄棒の設置工事が完了した。
令和5年6月　創立百五十周年記念として航空写真を撮影した。
令和6年1月　校庭西側防球ネット改修工事が完了した。
令和6年3月　創立百五十周年記念として桜の苗木6本を植樹した。

## II 学校経営の概要

### 1 学校教育目標

『心身ともに健康で　人間性豊かな　たくましい子どもの育成』
(目指す児童像)「正しく　強く　はつらつと」

○ よく考え　進んで学ぶ子　　(知育)

○ 心豊かな　思いやりのある子(徳育)

○ 健康で　たくましい子　　(体育)

### 2 学校経営の努力点とその具体策

(1)学習指導要領の趣旨や内容に基づいた適切な教育課程の編成と実施を図り、新しい時代に必要な資質、能力の育成を図る。

①学校や地域の実態，児童の発達段階や特性に応じた内容と時数配当の編成を行う。
②学校評価の結果を生かし，P→D→C→Aのマネジメントサイクルを重視するとともに，指導方法を工夫改善して内容の充実を図る。
③環境教育・福祉教育・国際理解教育・情報教育・キャリア教育・人権教育を推進する。

(2)「主体的で対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・評価に取り組み、確かな学力の向上を図る。

①指導のねらいを明確にし，基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
②児童理解を深め，個に応じたきめ細やかな指導を工夫して，良さを伸ばし，自信を持つことができるよう継続的な指導を行う。
③一人一台端末等の ICT を効果的に活用した授業を計画的に行い，情報活用能力，読解力，記述力の向上を図る。
④指導と評価の一体化を図るため，「主体的で対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み，適切な評価に努める。
⑤家庭と連携して，学ぶ意欲を引き出し，学習習慣の確立を図る。
⑥特別な支援を要する児童の実態に応じた個別の指導計画・支援計画を改善し，一人ひとりのニーズに応じた指導方法や学習環境を工夫するとともに，特別支援コーディネーターを中心に相互の連携を図りながら全校体制で支援に取り組む。

(3) 自他への思いやりや情操を育み、心の安定を図る生徒指導に努める。

①望ましい集団活動を通して，互いに認め合う，楽しい学校づくりを推進する。
②適切な児童理解や心の居場所づくりに努め，個に応じた指導方法を工夫し，いじめや不登校につながる心身の問題の早期発見・早期対応に努める。
③読書活動や山梨の自然や文化を活用した体験活動，文化芸術活動を通して，情操豊かな潤いのある心を育てる指導の充実を図る。
④「特別の教科道徳」の充実を図るとともに，家庭や地域と連携したしなやかな心の育成に向けた取組により，生命を大切にする心や自他を思いやる心，社会貢献の精神，規範意識，自己肯定感等を，発達段階に応じて育む。

(4) 体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。

①学校教育活動の全体をとおして，一人ひとりの興味や能力に応じた体力・健康・食に関する指導の充実を図る。
②生活安全・交通安全・災害安全について計画的に指導し，自らの身の安全は自らの力で守ろうとする安全意識の高揚と実践力を育てる。
③登下校時や校舎内外の安全管理体制の充実を図ると共に，学校安全計画及び防災(減災)・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と，それに基づく安全管理体制を拡充させる。

(5) 地域との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。

①保護者・地域・関係各機関と連携し児童の健全育成を図るとともに，地域活動への子どもの参加を促進させる。
②「コミュニティースクール」として地域との協働体制を生かした学校運営に努める。
③学校だよりや学校開放日を活用して情報を発信し，共有する。
④地域素材の教材化及び家庭や地域社会の人材活用を積極的に図る。

(6) 教職員としての力量を高め、信頼される学校づくりに努める。

①「教育は人なり　教育とは愛なり」を自覚し，実践的指導力の向上に努める。
②教職員個々の特性を活かしながら，共通理解を共通認識まで高め，協働体制で学校運営の一翼を担っていく。
③自己点検，自己評価及び学校関係者評価を活用し，教育内容や教育活動・学校運営の工夫改善を図り，説明責任の体制を確立させる。
④進んで研究と修養を重ね，自己の資質及び能力を向上させる。
⑤保護者や地域，幼保小中校種間，及び各種教育関係機関と連携し，相互に協力し合い児童の育成を図る。

(7) 業務改善と、働き方改革の推進に努める。

①教育的価値の有無を観点として教育活動全般を見直し，真に必要な活動を精選して行う。
②職場内に業務改善・働き方改革の風土を醸成し，それを教育活動の成果につなげる。

## III 校内研究計画

### 1 研究主題

**主体的に学ぶ子の育成**  
**～学びを支える学級づくり，授業づくり～**

### 2 主題設定の理由

今年度の研究内容を探る中で、現在の本校の実態に合わせた、研究テーマを話し合った。学習の基盤となる「学級づくり」の研究を行いたいという意見がほとんどであった。本校の児童・保護者は、年々考え方が多様化していると痛感している。その多様化した考えを持った児童をまとめ、学習を進める事への困難さを感じる教員が多い。授業を行う上で「学級づくり」はきわめて重要な要件となる。良い授業が行われる場合は、その前提として良い学級づくりが必要と言える。教員の経験年数、児童の実態がそれぞれ違う中ではあるが、「学級づくり」というテーマで研究をしたいという思いは、共通していた。

また、山梨県学校教育指導指針において、学級経営の充実があげられている。具体的には、「教師と児童との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる学級・学年等の集団づくりに取り組む。」「児童生徒が所属感、自己肯定感、自己有用感を持つことができるよう、集団・個人として課題解決に向けた目標や方法・内容等をまとめたり、決定したりする活動を行い、一人ひとりのよさや可能性を生かすよう取り組む。」とある。

「主体的・対話的で深い学び」という高度な学びを実現するためには、子どもたちの主体的で自治的な取り組みが不可欠である。本校の実態に合わせ、まずは、学級づくりを研究し、学級経営が充実することが、主体的に学ぶ児童の育成へとつながると考え、主題・副題を設定した。

### 3 研究の具体的内容与方法

(1)児童の実態分析と指導法の改善
全学調の結果分析から、本校児童の実態把握をし、授業づくりの視点や指導法の共通理解を図る。
(2)教師一人一人がテーマを決め自習研修を行う
・先進校視察
・各人の研修の報告・交流
(3)一人一実践の公開授業
一人一実践を公開し、授業改善と授業力の向上を図る。
(4)今日的教育課題関連の学習会
・特別支援教育についての学習会
・学級づくりについての学習会
・個別最適な学びと、協働的な学びについての学習会
・子ども主体の教育についての学習会
(5)教育課程説明会の環流報告

### IV 学年別児童数（令和6年5月1日現在）

学年学級	1年	2年	3年	4年1組	4年2組	5年	6年	すみれ1	すみれ2	たんぼぼ	合計
男子	7	10 <small>た1す1</small>	13 <small>た2す2</small>	10	12	13 <small>た1す1</small>	9 <small>す2</small>	3	3	4	74
女子	16 <small>た1す1</small>	11	14	8 <small>た1</small>	8	17	15 <small>す1</small>	1	1	2	89
合計	23	21	27	18	20	30	24	5	4	6	163

### V 職員組織表

職名・担当	氏名	職名・担当	氏名	
校	長	清水 誠治	事務主任	古屋 鮎美
教	頭	小林 みずほ	英語専科(火・木)	大柴 由美
教務主任		山田 勝博	NLT(月・火・木)	ファンサミ・マイケル
1年担任		坂本 由香	特別支援教育支援員	横田 勝代
2年担任		橋本 未来	特別支援教育支援員	星野 浩章
3年担任		若月 敬二郎	特別支援教育支援員	廣瀬 千穂
4年1組担任・主任		三澤 美穂	図書館司書(火・木・金)	角田 治美
4年2組担任		長谷川 未紗	栄養教諭	深澤 智子
5年担任		有賀 慶史	スクールカウンセラー	鈴木 美菜子
6年担任		安富 智恵美	用務員	手崎 吉雄
すみれ1組(情緒)		雨宮 綾	配膳員	武井 万里子
すみれ2組(情緒)		小宮山 裕子	内科校医	廣瀬 乾三
たんぼぼ(知的)		雨宮 玲子	歯科校医	三神 仁
特別支援加配		清水 正俊	眼科校医	清水 源政
初任者指導		新海 直仁	耳鼻科校医	芦沢 圭
初任者後補充		河野 えつ子	学校薬剤師	小池 英二
養護教諭		前嶋 真理子		